

霜を履んで堅氷至る

小説『霜しづく』（久保万太郎著）の主人公は、旅先から「けさは寒く、おどろくほど霜が強かった。どこもかも一面に真っ白だった。そして、くつきりと、そういつてもみごとに富士が晴れていた。・・・」と手紙を書きます。

寒い朝、地表に白く現れるのが霜柱（しもばしら）です。霜柱は地中の水分が凍ってできたものであり、空気中の水蒸気が昇華して凍った霜とは別の現象です。「霜を履（ふ）んで堅氷（けんひょう）至（いた）る」は、霜柱を踏むシーズンを経て、厳冬の堅氷期がやってくるころから、物事にはすべて前兆があることをいいます。中国易断の経典『易経』からでた成句で、前兆が見えたら用心し、対策や備えを怠ってはならないということにも用いられます。12月はきらびやかなイルミネーションに誘われて、気が緩むとき。イベントが済んだら気持ちを切り替え、自身の将来のために知識や教養を備えましょう。金商図書館もあなたのお手伝いをします。

図書委員がすすめる

読んで得するテッパン本

『ログ・ホライズン』橙乃ままれ著

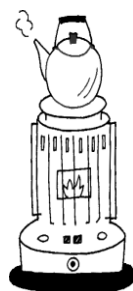
MMORPGのプレイヤーは、ある日異世界に転移してしまう。プレイヤー達は高い戦闘能力、「死」からの蘇生能力を備えた英雄的存在〈冒険者〉とよばれ、異世界で暮らすことになる。ゲームの世界なので入り込みやすい。（21H）

『パズル』山田悠介著

この話は超有名進学校が武装集団に占拠され、人質となった教師を助けるために、生徒達が学校中に散りばめられた2000ピースのパズルを48時間以内で探し出す話です。バラバラになったクラスメイトが次第に団結していくところがおもしろいです。（22H）

『日本人の知らない日本語』蛇蔵&海野風子著

正しい敬語使えていますか？そう聞かれるとキッパリ答えにくいと思います。この本は、外国人学生からの超マニアックな質問に悩みながら解決していく笑える話です。なるほど！と感じることも多くためになります。（22H）



募集！ 読書会を開催します！

* 日時 12月18日(金) 15:30~16:30

* テキスト 『フォーゲットミー、ノットブルー』 柚木 麻子著
(文藝春秋社 2012年発行『終点のあの子』より抜粋)

誰でも自由に参加できます。参加希望者は図書委員もしくは図書館まで。おいしいお菓子とお茶を用意して待っています！

新着雑誌

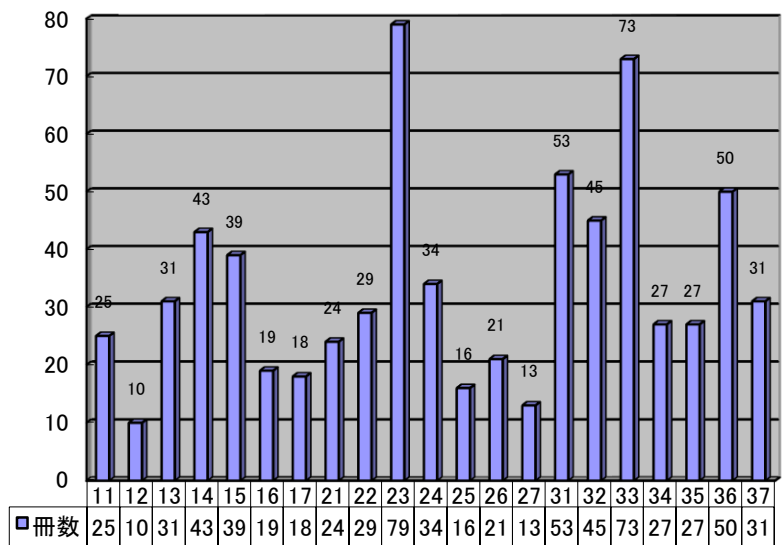
『2016年の論点』

2016年の 論点

2016年の15大問題

●日本が直面する諸問題について、その当事者・専門家が処方箋を書き下ろします。常識を養う最適の書。

図書館利用統計【10月1日~11月30日】



10月~11月の図書貸し出し総数は707冊でした。開館日数は36日で、1日平均にすると約19.6冊の貸し出しです。学年別では3年生が306冊、2年生が216冊で、1年生は185冊でした。入館者の総数は4,848人で、1日平均約135人の利用でした。図書館での授業は41時間ありました。年末年始、テレビやDVDもいいけれど、読書をするより充実しますよ！